



スポット  
ニュース

## 第10回跡利用検討委員会を開催しました

平成22年12月17日に、第10回超深地層研究所跡利用検討委員会を瑞浪市産業振興センターで開催しました。この委員会は、岐阜県、瑞浪市、土岐市の代表及び両市議会代表、学識経験者、地域代表の方々、原子力機構役職員などで構成されており、超深地層研究所において地層科学研究が終了した後の施設の利用方策について検討する委員会です。

当月の委員会では、原子力機構より瑞浪超深地層研究所の現状や、研究所施設を活用しての体験学習の取り組み状況などについて報告を行いました。委員の皆様からは「市民への研究所の理解を深める工夫等を検討していただきたい」などの貴重なご意見をいただきました。

また、会議の後には、委員の皆様は研究所に移動して、研究坑道での研究状況や施設活用状況等をご視察されました。



跡利用検討委員会の様子

### 主な報告内容



サイエンスキャンプ  
(ボーリングコアの観察)



スーパーサイエンスハイスクール<sup>※</sup>  
による施設見学



出張授業  
(名古屋市立宮中学校)

※ 科学技術、理科・数学教育を重点的に行う学校を文部科学省がスーパーサイエンスハイスクールとして指定し、科学技術系人材の育成に資する。



研究坑道内でのパネル等の展示



### 今後の進め方

体験学習の場としての更なる活用や深度300mステージの活用の充実などに引き続き取り組んでいく。

## 第25回東濃地科学センターセミナーの開催案内

第25回東濃地科学センターセミナーを下記のとおり開催します。なお、事前申し込みは必要ございませんので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

- 【テーマ】「生物多様性と環境 ～COP10の課題と今後の展開～」
- 【講師】香坂 玲氏 (名古屋市立大学大学院 准教授)
- 【日時】平成23年2月27日 (日) 13:30～15:30 (開場13:00)
- 【会場】瑞浪市地域交流センター「ときわ」 1階 多目的ホール
- 【定員】100名程度

◀セミナーに関するお問合せ先▶

下記の連絡先へお問合せください。

入場無料

## 来月の主な作業予定 (2月)

### 【瑞浪超深地層研究所】

- ①主立坑と換気立坑の立坑掘削作業及び坑内外設備の維持管理
- ②深度300m研究アクセス坑道における断層や割れ目を対象としたボーリング孔を用いた水圧観測
- ③深度200mボーリング横坑のボーリング孔(2孔)及び深度300mボーリング横坑のボーリング孔(3孔)を用いた立坑近傍の水圧の長期観測
- ④深度200m,300m,400m予備ステージのボーリング孔を用いた水質等の長期観測
- ⑤地表からのボーリング孔(MSB-1,2,3,4号孔、MIZ-1号孔、05ME06号孔)での水圧等の長期観測
- ⑥表層水理観測/気象観測(雨量、湿度、気温等)  
(地下水の水圧の変化を推定するための地表の微少な傾きの観測等)
- ⑦深度300m研究アクセス坑道における岩盤中の物質の移動に関するボーリング孔(2孔)を用いた水圧観測(電力中央研究所との共同研究)
- ⑧深度300m研究アクセス坑道のボーリング孔を用いた地下水水圧・水質観測(産業技術総合研究所との共同研究)
- ⑨東濃地震科学研究所との研究協力に伴う岩盤の傾斜の長期観測
- ⑩排水処理設備におけるふっ素、ほう素の除去後の排水
- ⑪狭間川における流量観測及び用地周辺井戸での水位観測
- ⑫研究坑道の排水等に伴う環境管理測定

### 【正馬様用地】

- ①既存のボーリング孔での水圧等の長期観測

立坑の掘削深度  
(1月20日現在)

主立坑 459.6 m 換気立坑 462.4 m



◀地層研ニュース等に関する連絡先▶

地層研ニュースに関するご意見・ご要望や瑞浪超深地層研究所の見学のご希望などについては、下記へご連絡ください。

【電話】0572-66-2244(代表) 【FAX】0572-66-2124 【Eメール】tono-ck@jaea.go.jp

《東濃地科学センターHP: <http://www.jaea.go.jp/04/tono/index.htm>》

東濃地科学センター 地域交流課(戸祭, 飯島, 牧田, 福島)

# 「瑞浪超深地層研究所に係る環境保全協定書」第2条に基づく排水水等の測定結果 (平成22年12月分)

【採取日：平成22年12月2日】(排水水、河川水、湧水)  
 【採取日：平成22年12月24日】(換気立坑掘削土)

単位：mg/l (水素イオン濃度はpH)

測定項目	管理目標値	工事排水水	狭間川下流	※1 立坑の湧水	※2 狭間川上流	※3 掘削土の 溶出量(主立坑)	※4 掘削土の 溶出量(換気立坑)
水素イオン濃度	6.5～8.5	7.1	7.2	8.6	7.0		
浮遊物質量	25以下	1未満	1		1未満		
カドミウム	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満
全シアン	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		検出されず
有機燐化合物	検出されないこと	検出されず					
有機燐	検出されないこと						検出されず
鉛	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		0.005未満
六価クロム	0.05以下	0.04未満	0.04未満	0.04未満	0.04未満		0.04未満
砒素	0.01以下	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満		0.005未満
総水銀	0.0005以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満
アルキル水銀	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		検出されず
PCB	検出されないこと	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず		検出されず
トリカドミウム	0.03以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満
テトラカドミウム	0.01以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満
四塩化炭素	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		0.0002未満
ジカドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満
1,2-ジカドミウム	0.004以下	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満	0.0004未満		0.0004未満
1,1,1-トリカドミウム	1以下	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満		0.0005未満
1,1,2-トリカドミウム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満		0.0006未満
1,1-ジカドミウム	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満
ビス-1,2-ジカドミウム	0.04以下	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満		0.004未満
1,3-ジカドミウム	0.002以下	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満		0.0002未満
チウラム	0.006以下	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満	0.0006未満		0.0006未満
シマジン	0.003以下	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満		0.0003未満
チオベンカルブ	0.02以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満
ベンゼン	0.01以下	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満		0.001未満
セレン	0.01以下	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満		0.002未満
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	10以下	0.28	0.12	0.53	0.10		
ふっ素	0.8以下	0.2	0.1	3.5	0.1未満		0.7
ほう素	1以下	0.35	0.06	0.57	0.02未満		0.27
塩化物イオン	—			87			
アゾニア、アゾニウム化合物 及び硝酸化合物	—	0.28					

【測定期間：9月29日～12月15日】

参考値	測定結果
花木の森散策路 における空間放射線線量率	0.08～0.10μSv/h
周辺地域の空間放射線線量率と同等※5	0.08μSv/h
	3ヶ月の集積空間放射線線量※6から算出

※1 立坑の湧水の値は排水処理によりふっ素、ほう素を除去する前の湧水の値です。排水処理後、狭間川へ排水します。  
 ※2 狭間川上流は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。  
 ※3 掘削土の溶出量は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。  
 ※4 空間放射線線量率とは一定時間(一時間当たり)の空間の放射線の量のことで、3ヶ月の集積空間放射線線量率とは3ヶ月間にわたって測定された空間放射線線量の集積量のことで、は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。  
 ※5 空間放射線線量率とは一定時間(一時間当たり)の空間の放射線の量のことで、3ヶ月の集積空間放射線線量率とは3ヶ月間にわたって測定された空間放射線線量の集積量のことで、は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。  
 ※6 空間放射線線量率とは一定時間(一時間当たり)の空間の放射線の量のことで、3ヶ月の集積空間放射線線量率とは3ヶ月間にわたって測定された空間放射線線量の集積量のことで、は管理の対象となりませんが、湧水は排水処理プラントの運転の参考、河川上流は河川状態の把握等のため測定しています。

注意：□は※4参考値

【掘削区間程度毎の掘削土溶出試験結果(換気立坑)】 (単位：mg/l)

項目 (参考値)	ふっ素 (0.8以下)	ほう素 (1以下)	砒素 (0.01以下)	鉛 (0.01以下)	総水銀 (0.0005以下)
掘削区間 459.8m～ 460.3m	0.1	0.02	0.005未満	0.005未満	0.0005未満

## 排水水等の塩化物イオン濃度の測定結果(12月)

測定項目	狭間川上流	立坑の湧水	工事排水水	明世小前取水口
塩化物イオン濃度 (単位：mg/l)	1.2～2.1	160～200	180～290	11～96

※明世小前取水口における月平均の濃度が300mg/lを超える、又はその恐れがある場合は、直ちに耕作の方々にお知らせし、これが長期間に及びと予想される場合は、500mg/lを超える前までに必要な対策を講じます。

## 瑞浪超深地層研究所の地下を体験しよう!

瑞浪超深地層研究所では、地下深部を体験できる施設見学会を下記のとおり開催します。参加をご希望の方は事前申込が必要となりますので、2月24日(木)までに住所、氏名、電話番号を下記の連絡先までお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともありますのでご容赦ください。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【日時】平成23年2月27日(日)9:30～11:30

【内容】地下300mの世界を体験いただけます。

【対象】小学校4年生以上

工事現場での安全の確保のため、小学生の方は4年生以上で保護者同伴でお願いします。また入坑の際は、安全装備(つなぎ服・反射ベスト・ヘルメット・安全長靴・軍手・坑内PHSなど)を着用して頂きます。工事中の現場ですので、狭くて急な階段等もあります。階段の昇降等が困難な方など自立歩行に支障のある方や高所、閉所恐怖症の方などは研究坑道に入坑できない場合がありますので、事前にご確認をお願いいたします。

※氏名等の個人情報は、当機構主催の見学会や講演会等のご案内に使用させていただく場合があります。



施設見学会(深度300m研究アクセス坑道)

## 瑞浪国際地科学交流館のミニギャラリーの展示案内

瑞浪国際地科学交流館の1階のミニギャラリーでは、「雪会 水墨画展」として水墨画の作品を展示しています。是非、交流館へ足を運びください。

【期間】1月15日(土)～2月12日(土)(10:00～17:00入館無料)

【場所】瑞浪国際地科学交流館[瑞浪市明世町戸狩字大狭間36-8]

※展示作品の募集も随時行っております。展示は無料ですので、表面の連絡先へお気軽にお問合せください。